

2025 年度

学生協働支援隊 御園宇地域

デジタルマップの作成

1. 背景と目的

御園宇地域では、これまで紙媒体で自治会の区域図を作成・管理してきた。しかし、紙資料では更新や共有が難しく、引き継ぎの際の手間やいざというときに、活用がしづらい課題があった。

そこで2025年度は、ゼンリン社製のデジタル基本図（電子住宅地図デジタウン 東広島市 202404-202504）を活用し、区域図をデジタル化する取り組みを学生協働支援隊と一緒に開始した。

デジタルマップ化には、以下のような意義がある。

- ・データの更新・共有が簡単で、災害時や緊急対応の際にも迅速に活用できる。
- ・引き継ぎ時の負担軽減や、地域の現状をより正確に把握するための基盤となる。
- ・学生協働支援隊が得意とするデジタル機器や地図操作スキルを生かし、地域の情報資源整備に貢献できる。

また、学生にとっても、地域の課題解決にICTスキルを活かす実践的な機会となり、地域理解の深化や社会連携の経験につながることが期待される。

2. 実施概要

【月日】	【内容】	【担当】
5月1日	コーディネーターと進め方の打ち合わせ	学生協働支援隊・コーディネーター
6月～	デジタル基本図・地区境界明示作成（御園宇自治協）	自治協
6月11日～30日	紙データのデジタル化（線引きデータ入力）	学生協働支援隊
7～8月	地図に入力する情報の検討・修正（役員会7/5・9/13）	自治協
9月26日	修正箇所の受け取り	コーディネーター
10月～	デジタルマップ修正作業・確認	学生協働支援隊
10月23日	デジタルデータ渡し・今後の流れの確認	コーディネーター
11月1日	成果確認（第6回役員会）	自治協
12月	細かな修正作業とデータ渡し	学生協働支援隊

3. 実施結果

御園宇小学校区住民自治協議会のデジタルマップが完成し、役員会で成果確認を行った。デジタル化することにより、地域住民の知識が地図に反映され、共有可能な資料となつた。これまで不確定であった自治会の未加入地域が可視化された。今後の防災や見守り活動に活用できる成果が得られた。地域で今後修正などができるように、データの操作方法についてのマニュアルを学生協働支援隊で作成し、地域へ伝えた。

4. 今後に向けて

今後もデータの更新を随時地域で行っていく。

デジタルマップは、防災・福祉・まちづくりなど多様な分野で活用できる基盤情報として、地域に定着していくことが期待される。

今後は、学生協働支援隊が引き続き技術面で支援しながら、地域の方々が地図を更新・活用できる体制づくりを目指す。

【地図データ入力作業】

【日時】2025年6月11日～6月30日

【場所】東広島市市民協働センター

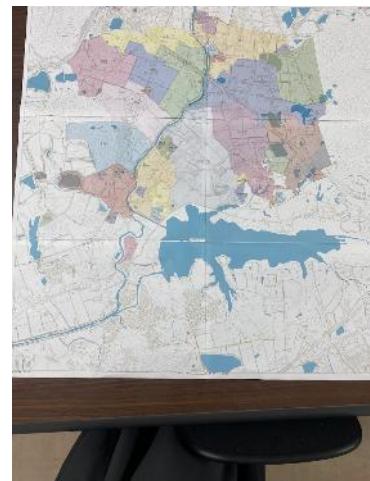
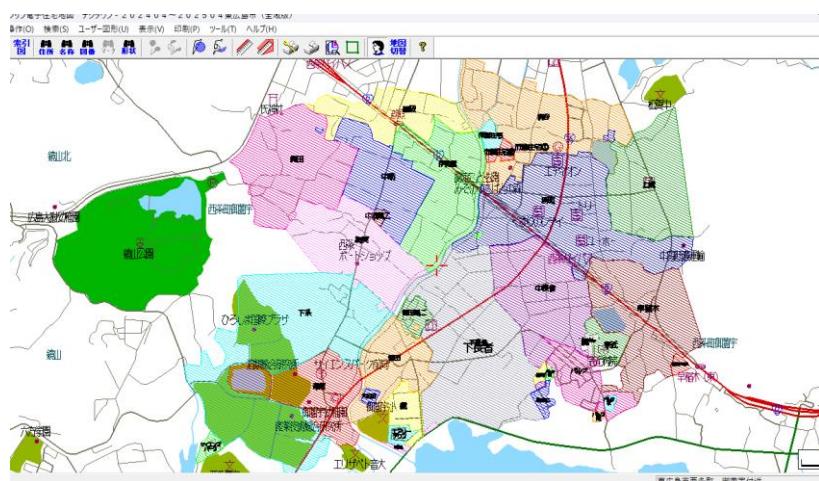
【参加者】合計5名（学生2名、コーディネーター2名、地域1名）

【内容】

● 実施内容

紙地図上に手書きで示されていた区域線をもとに、デジタル地図上に線を入力し、区域を明確にした。

作業完了後、7月3日（木）に地域へデータを渡し、操作方法や印刷手順を共有した。



● 今後に向けて

7/5（土）と9/13（土）10時～12時で役員会。そこで地図に入れる情報を地域の人たちで確認・検討。その後、学生協働支援隊でデータの追加や修正作業を行う。

【当日の感想】

地図をデジタル化することで、地域の情報が整理されていくのを実感しました。これが今後の防災や地域運営に役立つと思うと、作業にやりがいを感じました。

普段はパソコンを使う作業が多いので、地域の方の役に立てる形でスキルを活かせてうれしかったです。

【データ修正作業】

【日時】2025年9月26日～10月30日

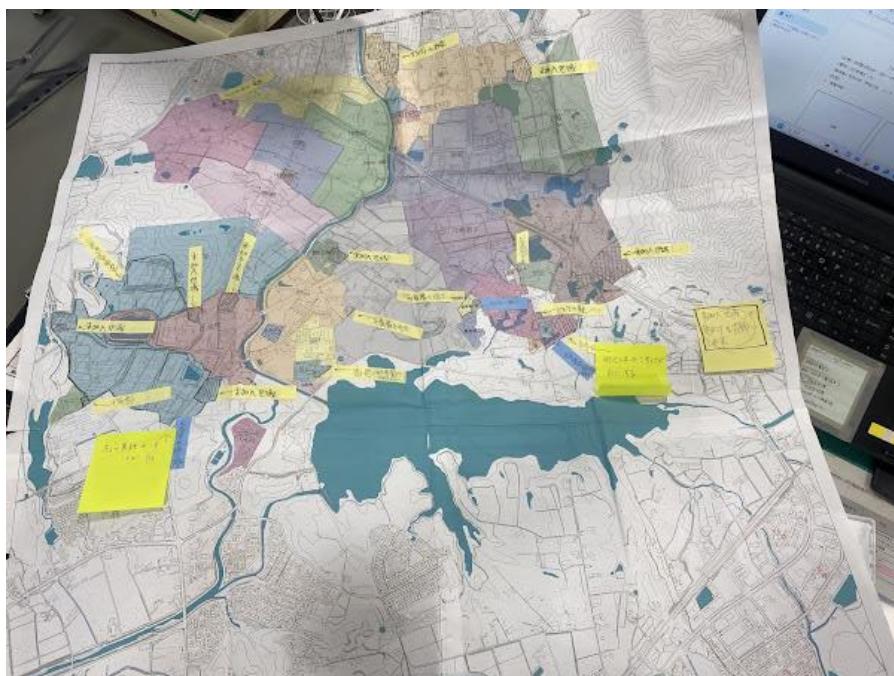
【場所】東広島市市民協働センター

【参加者】合計5名（学生2名〔米田・福富〕、コーディネーター2名、地域1名）

【内容】

- 実施内容

御園宇自治協役員会（9/13開催）で確認された修正箇所を受け取り、デジタルマップ上に反映する作業を行った。区域境界や地名の表記を整え、より正確なデータに仕上げた。



- 今後に向けて

地域にデータを渡し、修正箇所の反映、追記情報を検討する。その後修正があれば、修正作業を学生協働支援隊で進める。

【当日の感想】

地域の方からのフィードバックを受けて修正を重ねることで、完成度が上がっていくのを感じた。住民目線の地図づくりの大切さを学んだ。

完成してきているデジタルマップを見て、紙では分かりづらかった区域がはっきりして情報共有のしやすさを実感した。

【デジタルデータお渡し】

【日時】2025年10月23日

【場所】御園宇小学校区住民自治協議会

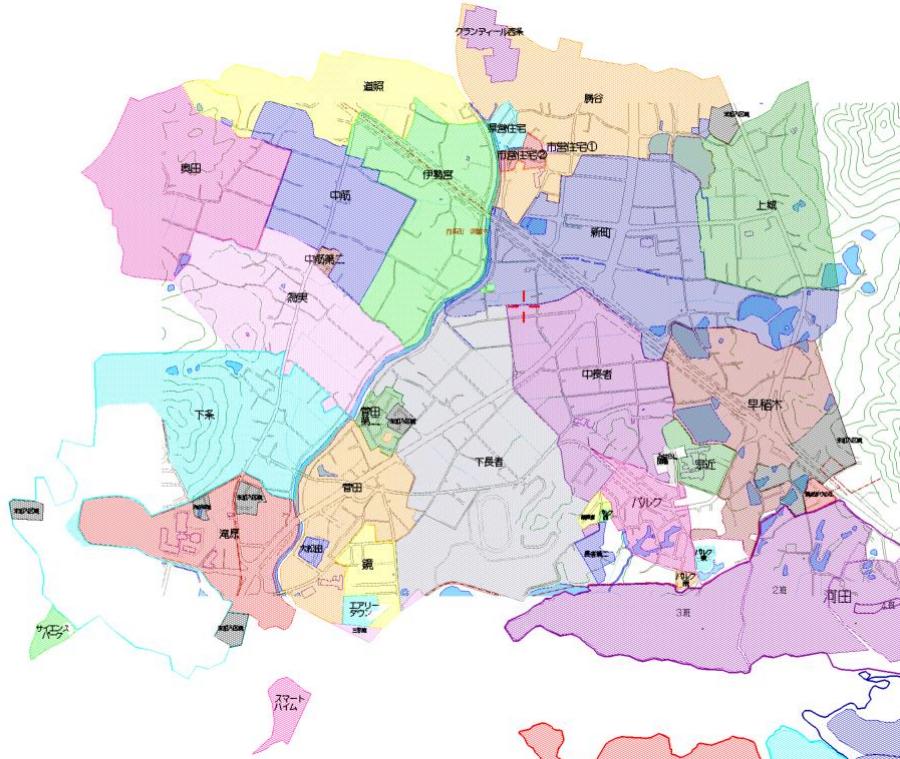
【参加者】コーディネーター2名、地域1名

【内容】

● 実施内容

学生協働支援隊が作成した地図データを地域に渡した。今後の流れや活用方法について共有した。操作方法のマニュアル化も必要であることが確認され、今後学生協働支援隊で作成を進める予定。

今回、デジタル化することにより、自治会未加入地域が可視化されたことが成果として確認された。



● 今後に向けて

11/1 の役員会で完成したデジタル地図について確認を行う。その後修正があれば、随時対応する。

【データ修正作業】

【日時】2025年12月23日

【場所】東広島市市民協働センター

【参加者】計3名（学生1〔米田〕、コーディネーター1名、地域1名）

【内容】地域から出てきた地図区域の変更を修正する作業を行い翌日地域へ渡した。

